

平成 28 年 9 月 28 日
内閣府知的財産戦略推進事務局

クールジャパン拠点連携実証調査における 実証プロジェクト公募予定等について

内閣府知的財産戦略推進事務局では、平成28年度第2次補正予算案に盛り込まれた「クールジャパン拠点連携実証調査」として、全国に点在するクールジャパン拠点間の連携・ネットワーク化を推進するための方策に係る実証プロジェクトを募集し、その効果・改善点を調査・分析し、クールジャパン拠点の連携に向けた先行事例・ベストプラクティスの創出に取り組めます。

実証プロジェクトの募集を今後予定しておりますので、御案内いたします。

◆実証プロジェクト募集予定

募集は「クールジャパン拠点連携実証調査」の委託事業者より実施します。本事業の実施主体の決定や執行は、平成28年度第2次補正予算の成立が前提であり、今後、内容等が変更になることもありますので、あらかじめ御了承ください。

応募対象	全国に点在するクールジャパン拠点間（※1）の連携・ネットワーク化を推進するため、ベストプラクティスとして全国に展開可能な、クールジャパン拠点が他のクールジャパン拠点と連携・ネットワーク化するための方策を実証する事業（※2）
応募要件 （※3、4）	<p>（1）クールジャパン拠点と他のクールジャパン拠点が連携体制を構築し共同して行う取組であること。</p> <p>（2）以下の少なくとも1つの拠点の機能を他の拠点・地域（海外拠点も可）との連携によって高める取組であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の魅力を国内外に発信する「情報発信機能」 ○専門家を育てる「人材育成機能」 ○関連する産業を創出する「産業創出機能」 <p>（3）先進的・試験的な取組であること。</p> <p>（4）以下の内容が企画提案に記載されていること。</p> <p>①クールジャパン拠点構築検討会 http://www.cao.go.jp/cool_japan/kaigi/kyoten_koutiku/kyoten_koutiku.html で検討している全国に点在するクールジャパン拠点の連携・ネットワーク化を推進するための工夫</p>

	<p>が提案事項に含まれていること。</p> <p>②事業においてどのようなクールジャパン拠点とどのような連携を想定し、連携の結果どのような効果を期待しているかを提示すること。</p> <p>③事業の実施による連携方策の実証を行うことにより、全国の拠点（海外のものを含みうる）が連携によりクールジャパンの発信・海外展開等の効果を高めるような取組の参考になるものであり、またこのような取組を促すことが期待されることの説明を提示すること。</p> <p>④（可能な限り来年度以降の取組を含めた）実施計画を提示すること。</p> <p>⑤プロジェクト企画の背景と課題を提示すること。その課題に対応した実証プロジェクトとして、課題の抽出や成果等の効果検証の手法を提示すること。</p>
経費（補助）	1件あたり500万円～2,000万円（税込）程度（※5）
実施期間	平成28年11月中旬頃～平成29年3月中旬
実施場所	日本国内（海外拠点を含むことも可）
募集時期	平成28年10月中旬頃～下旬
採択予定件数	8件程度

※1 本事業における「クールジャパン拠点」とは、日本文化の魅力を世界に発信し、人材育成、産業創出、地域活性化、その他クールジャパン資源の価値向上等につなげるクールジャパン関連事業を実施している施設等（海外のものも含みうる）をいい、「クールジャパン拠点構築検討会」の「中間とりまとめ」において示された「情報発信機能」、「人材育成機能」、「産業創出機能」などの機能を持つものを想定しています。

※2 実証プロジェクトの実施にあたっては、「クールジャパン拠点連携実証調査」の委託事業者がファシリテーターとして、事業が円滑に進むよう、指導・助言等をさせていただきます。

※3 実証プロジェクトの選考にあたっては、上記の要件を満たしていることに加え、事業内容や事業が行われる地域等の観点からできるだけ多角的なクールジャパン連携・ネットワーク化の実証となることについても考慮の上、選考いたします。また、連携方策についてのクールジャパン拠点構築検討会における検討内容も参考といたします。選考後、「クールジャパン拠点連携実証調査」の委託事業者と委託契約を締結していただく予定です。

○クールジャパン拠点構築検討会（第4回）

日時 平成28年10月14日（金）16:00～18:00

場所 中央合同庁舎第4号館11階 第1特別会議室

議題 クールジャパン拠点間連携・ネットワーク化の方策に関する意見交換等

※4 実証プロジェクトの実施主体

以下のいずれかに該当するものとします。

○株式会社等の法人格を有する者（株式会社、一般社団法人、一般財団法人、NPO等）

○地方公共団体（都道府県又は市町村（特別区、一部事務組合及び広域連合を含む））

○法人格を有しないが、次に掲げる措置がとられている団体（実行委員会等）

- 1) 定款、寄附行為に類する規約を有すること
- 2) 団体の意思を決定し、執行する体制が確立していること。
- 3) 自ら経理し、監査する会計体制を有すること。
- 4) 活動の本拠となる事務所等を有すること。

※5 実証プロジェクトの実施経費（補助）の内容

- ・本実証プロジェクトを実施したことに対する利益の計上は認められません。
- ・人件費、事業費、一般管理費を計上できます。
- ・外注費は経費総額の5割未満とします。
- ・計上可能な経費区分は次表のとおりです。

区分	経費区分	内容
人件費	人件費	プロジェクトに直接従事する者の作業時間に対する人件費
事業費	旅費	プロジェクトを行うために必要な国内出張及び海外出張に係る経費
	会議費	プロジェクトを行うために必要な会議、講演会、シンポジウム等に要する経費（会場借料、機材借料及び茶菓料（ただし、飲食に係る経費は対象外）等）
	謝金	プロジェクトを行うために必要な謝金（会議・講演会・シンポジウム等に出席した外部専門家等の知見等に対する対価、講演・原稿の執筆・研究協力等に対する対価）
	借料及び損料	プロジェクトを行うために必要な機械器具等のリース・レンタルに要する経費
	消耗品費	プロジェクトを行うために必要な物品であって備品費に属さないもの（ただし、当該事業のみで使用されることが確認できるもの）の購入に要する経費
	外注費	受託者が直接実施することができないもの又は適当でないものについて、他の事業者に外注するための経費（請負契約）
	印刷製本費	プロジェクトで使用するパンフレット・リーフレット等の冊子の印刷製本に関する経費
	補助員人件費	プロジェクトを実施するために必要な補助員（アルバイト等）に係る経費
再委託費	再委託費	プロジェクトを行うために必要な経費のうち、当該プロジェクトのために使用されることが特定・確認できるものであって、他のいずれの区分にも属さないもの 例）－通信運搬費（郵便料、運送代、通信・電話料等） －翻訳通訳、速記費用
		発注者との取り決めにおいて、受託者が当該プロジェクトの一部を他社に行わせるために必要な経費（委任契約）
一般管理費	一般管理費	プロジェクトを行うために必要な経費であって、当該プロジェクトに要した経費としての抽出、特定が困難なものについて、委託契約締結時の条件に基づいて一定割合の支払いを認められた間接経費

クールジャパン拠点連携実証調査 【131百万円】

内閣府
【お問い合わせ先】
知的財産戦略推進事務局
03-3581-2549

事業概要・目的

○全国には優れたクールジャパン拠点が数多くあり、これらの連携・ネットワーク構築を通じ、各拠点が持つ情報発信機能、人材育成・産業創出機能が最大限発揮されることは、我が国の経済成長に資するものです。

○しかしながら、現時点では、全国のクールジャパン拠点における取組は、「点」に留まっているところが多く、相互の連携・ネットワーク化による相乗効果を活用し、各拠点が持つ潜在力が「面」として最大限発揮されているとは言いがたい状況にあります。

○そこで、全国に点在するクールジャパン拠点間の連携・ネットワーク化を推進するための方策について、地域やテーマの異なる複数の実証例を得て、情報発信、産業創出、人材育成、地方創生等の観点から効果を総合的に実証します。

資金の流れ

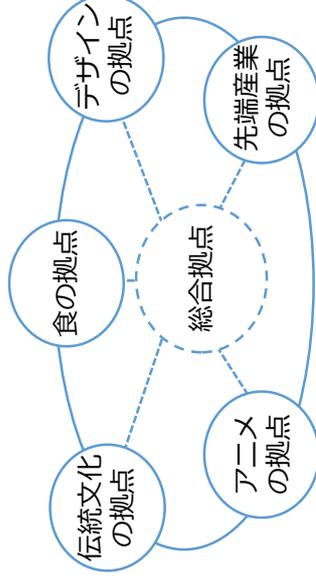


事業イメージ・具体例

○クールジャパン拠点間の連携・ネットワーク構築を推進するための方策を検討するため、委託先のシンクタンク等のノウハウ・サポートを得つつ、複数の実証事業を実施。

(実証事業における取組例)

- ・ 発信力強化による、海外市場開拓の加速化やインバウンドへの波及
- インデックス機能等の構築、ビジョンやストーリーの設定
- ・ 人材育成の推進、新産業創出 等
- 海外人材の誘致、クリエイター等への制作・発表の場の提供



期待される効果

- 情報発信力が強化されることにより、海外市場開拓の加速化やインバウンドへの波及が期待されます。
- 拠点内外での異分野連携等が進むことにより、人材育成の推進や、新産業の創出が期待されます。

※ 選定手続きは今後になりますが、お考えの取組等について、随時、御相談を承ります。